負担金等実績額調書」のうち「2．療養給付費等負担（補助）金の額に関する調」中「新国庫補助対象給付費［23］」欄の数値から「様式第9（その1）平成28年度療養給付費負担金対象費用額算出表（市町村（全体分））」のうち「保険基盤安定繰入金の1／2［33］」欄の数値及び「様式第6－B　平成28年度療養給付費等負担金対象費用額内訳表（市町村分）」中「6．本年度退職被保険者等に係る額」のうち「調整対象基準額［52］」欄の数値の合算値を控除した数値並びに「様式第6－B　平成28年度療養給付費等負担金対象費用額内訳表（市町村分）」中「7．前期高齢者に係る額　②前期高齢者納付金」のうち「合計［61］」欄の数値から「7．前期高齢者に係る額　①前期高齢者交付金」のうち「合計［58］」欄の数値を控除した数値並びに「様式第10　平成28年度国民健康保険療養給付費等負担金等算出表」中「2．負担金内訳　(2)老人保健医療費拠出金にかかる分」のうち「負担金の基礎となる額」「合計［18］」欄の数値、「2．負担金内訳　(3)後期高齢者支援金にかかる分」のうち「負担金の基礎となる額」「合計［24］」欄の数値及び「2．負担金内訳　(4)介護納付金にかかる分」のうち「負担金の基礎となる額」「合計［30］」欄の数値の合算値

九　高齢者保健福祉費	六十五歳以上人口

α　1.00050163

［18～21　略］

22　一般被保険者数さ、市町村税課税状況調（国民健康保険税関係）の「第1表　n－2年度国民健康保険の加入者の状況に関する調」の「（その1　基礎課税（賦課）額に係る分）」の表中「被保険者数㈢」の欄の数とする。以下この表において同じ。

1　密度補正に用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

（B×4.054＋C×11.194）／A

算式の符号

九　高齢者保健福祉費	六十五歳以上人口

給付費等負担金等実績額調書」のうち「2．療養給付費等負担（補助）金の額に関する調」中「新国庫補助対象給付費［23］」欄の数値から「様式第9（その1）平成27年度療養給付費等負担金対象費用額算出表（市町村（全体分））」のうち「保険基盤安定繰入金の1／2［33］」欄の数値及び「様式第6－B　平成27年度療養給付費等負担金対象費用額内訳表（市町村）」中「6．本年度退職被保険者等に係る額」のうち「調整対象基準額［52］」欄の数値の合算値を控除した数値並びに「様式第6－B　平成27年度療養給付費等負担金対象費用額内訳表（市町村）」中「7．前期高齢者に係る額　②前期高齢者納付金」のうち「合計［61］」欄の数値から「7．前期高齢者に係る額　①前期高齢者交付金」のうち「合計［58］」欄の数値を控除した数値並びに「様式第10　平成27年度療養給付費等負担金算出表（市町村）」中「2．負担金内訳　(2)老人保健医療費拠出金にかかる分」のうち「負担金の基礎となる額」「合計［18］」欄の数値、「2．負担金内訳　(3)後期高齢者支援金にかかる分」のうち「負担金の基礎となる額」「合計［24］」欄の数値及び「2．負担金内訳　(4)介護納付金にかかる分」のうち「負担金の基礎となる額」「合計［30］」欄の数値の合算値

α　0.98432617

［18～21　同上］

［新設］

1　密度補正に用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

（B×3.876＋C×11.880）／A

算式の符号